

新潟市フリースクール等連携協議会

連携の目的と意義

《連携協議会の設置目的》

本市において、不登校児童生徒のために支援を行う民間施設（以下、フリースクール等）と学校、教育関係機関との連携を図りながら、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等を図り、社会的自立を支援する目的で、本協議会を設置する。

《連携の意義》

○子ども・保護者にとって

- ・学校外における「居場所」「学習の機会」についての情報を容易に正確に得ることができ、「居場所」「学習の機会」の選択肢が増える。
- ・従来、ややもすると「学校に行けない負い目」を感じていた子ども、保護者がそのような感情から解放される。

連携の意義と目的

《連携の意義》

○学校にとって

- ・ 学校外の施設に通っている子どもの情報を得ることが容易になる。
- ・ 施設との連携を通して、保護者、子どもとのつながりが強まり、相互理解が進む。
- ・ フリースクール等のノウハウを学ぶことができる。

○フリースクール等にとって

- ・ 信頼度が上がる。
- ・ 活動の幅が広がる。
- ・ 学校との情報連携が進む。

○行政にとって

- ・ 子どもの安全確保ができる。
- ・ 不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の幅が広がる。

連携の全体像

新潟市フリースクール等連携協議会

理事：フリースクール等代表者
小中学校長会代表者
行政担当者

加盟の申請

意見・要望

新潟市不登校支援の会（民間のみ）

<https://fssg-niigata.jimdosite.com/>

Aフリー
スクール

Bフリー
スクール

Cフリー
スクール

不登校
親の会

Fフリー
スクール

Gフリー
スクール

- 当面、委員は増やさない。
- 申請があった施設の新規加盟について協議する。
- 情報交換会で出された意見などをもとに、よりよい連携について協議する。

- 任意参加
- 連絡協議会の委員が運営
- 自由な意見交換の場

情報交換会に参加しない団体がある可能性も。
それらの団体に対しては、連携協議会委員長から、情報提供を行う。

フリースクール等連携協議会の活動

①子どもたちの安全確保

民間施設の適切性を見定める。 = 新規加入の是非 . . . 書類提出と定期訪問

②情報提供・相談窓口

- ・「不登校相談会」の主催
- ・市のホームページ
- ・校長会、教頭会、生徒指導主事会での紹介

③学校と民間施設等との情報共有の条件整備

- ・指導要録上出席とできる要件 . . . 令和元年11月6日 通知済み

※ アップデートしていく

- ・学習内容、活動内容を共有するための共通フォーマットの提示、改善
. . . 評価・評定への反映の指針

④研修会等への講師の相互派遣

新規団体のチェック機能

～ 子どもの安全を保障するために ～

ステップ1

書類の提出
「民間施設に関する調査票」

ステップ2

連絡協議会理事による施設の
視察・聞き取り

ステップ3

「不登校相談会」において、
保護者等との面談

連携協議会において協議

連携協議会への加盟